

公表 令和6年度 事業所における自己評価結果

児童発達支援事業所 ケアステーションかんざき

令和7年8月実施

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	活動内容に合わせて、部屋の移動を行いスペースの確保を行っています。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・子どもの発達段階や参加人数に合わせ、出来るだけ職員数を調整しています。	
	3 生活空間は、子どもに分かりやすく構造化された環境になっているか。また事業所の設備等は障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・子どもが分かりやすい環境づくりを行っています。 ・さまざまな障害特性にも対応できる環境づくりを行っています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間になっているか。	5	2	・活動後には必ず清掃・換気を行っています。 ・活動後にはおもちゃなど、備品の消毒を行っています。	・トイレの便座が冷たい。 ・修繕計画を立て、子どもたちが心地よく過ごせる環境づくりを行っています。
	5 必要に応じて、子どもの個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・落ち着くために、個別の部屋に移動することが出来ています。	
業務改善	6 事務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・ミーティングで目標と振り返りを行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・情報を共有して改善に取り組んでいます。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・意見を言い合える職場環境です。 ・振り返りなど、しっかり話合う場を設けています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		・第三者による外部評価導入を検討していきたいと思います。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・研修を積極的に受けてもらえるようにスタッフ間で協力しています。 ・実際の場面を想定した事業所内研修を行っています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・ホームページにて公表しています。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・定期的に保護者と面談を行っています。ご家庭や学校の様子をお聞きした上で、スタッフに療育場面の様子や意見を聞き、計画の作成を行っています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・毎朝のミーティングに療育スタッフ、児童発達支援管理責任者が参加し、共通理解の上で計画を作成しています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画にそった支援が行われているか。	7	0		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・標準化されたアセスメントツールを使用しています。	

児童発達支援事業所 ケアステーションかんざき

令和7年8月実施

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	16 児童発達支援計画には、児童発達支援サービスガイドラインの『児童発達支援の提供すべき支援』『本人支援』『家族支援』『移行支援』で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、具体的な支援内容になるように、ミーティング内で意見を求めています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・療育スタッフが中心となって立案をしています。	
	18 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	7	0	・プログラムを立てる際に職員間で話し合いを行い、プログラムの作成を行っています。	
	19 子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・利用児の発達段階と保護者のニーズを踏まえ、個別と集団の療育を組み合わせ支援を行っています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・毎日、ミーティングを行い支援の内容や役割分担を確認するようにしています。	
	21 支援終了時には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・当日は難しいが、次の日に振り返りを行っています。	・終了時には行っていない。翌日のミーティングでの振り返りを継続していきます。
	22 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・療育終了後に必ず記録をとるようにしています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況をよく理解したもつともふさわしいものが参画しているか。	7	0		
	25 地域の保健・医療（主治医や協力医療機関等）障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・各機関と懇談や会議を積極的に言い連携を図っています。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなどインクルージョン推進の観点から支援を行っているか。またその際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互の理解を図っているか。	7	0		
	27 就学児の移行の際は、小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と総合理解を図っているか。	7	0		
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	・児童発達支援センターがないため公的な施設である当施設がその役割を担っています。	・児童発達支援センターが近隣になく、相談機関がない。
	32 保育所や認定こども園、幼稚園との交流や地域の他の子どもと活動する機会があるか。	3	4	・地域の子育て支援センターで活動する日を設けています。 ・スタッフが地域の子育て事業に参加しています。	・地域活動日の利用者が少ない。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加が出来る研修の機会や情報提供を行っているか。	5	2	・地域公開講座や保護者会を実施し家族が参加できる研修機会を設けています。	

児童発達支援事業所 ケアステーションかんざき

令和7年8月実施

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明責任	35 運営規定・支援のプログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37 児童発達支援計画を示しながら支援の内容の説明を行い、保護者からの放課後等サービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・定期的な面談に加え、療育の中で、保護者と積極的に話す機会を設けています。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。またきょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	・保護者会を行っています。 ・療育にきょうだいも一緒に参加いただき、療育の場で交流の機会を設けています。	・保護者会への参加人数が少ない。 ・多くの方にご参加いただけるように企画していきます。
	40 子どもの保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・相談に対しては迅速な対応を心がけています。	
	41 定期的に通信を発行することやホームページ・SNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42 個人情報の扱いに十分留意しているか。	6	1	・個人情報は鍵のかかる棚に保管をしています。	・机の上が散らかっていることがある。 ・整理整頓を心がけていきます。
	43 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0		
非常時等の対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、職員や家族に周知するとともに、発生を想定した訓練が実施しているか。	6	1	・定期的にマニュアルを作成し訓練を行っています。	・保護者に訓練時の様子をお伝えしたり、定期的にお便りで情報を発信することで周知していただけるように努めていきます。
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1	・服薬やてんかん発作の状況は確認し、必要に応じて対応マニュアルを作っています。	・予防接種の事は確認していない。
	48 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・食事の提供がないため、アレルギーについては口頭にて確認しています。	・飲食の機会がほとんどないため、医師の指示書の提出は求めている。
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、そのほか必要な措置を論じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	・安全計画は作成されています。	・実際に安全計画のように行動をとれるかの訓練をしっかり行っていく必要があります。
	50 子どもの安全確保に関して、家族との連携が図られるように、安全計画に基づく取り組み内容について、家族へ周知しているか。	4	3		・安全計画は作成しているが、保護者への周知について課題です。取り組みなどをお便りなどで発信していきます。
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハットについて、再発防止のための会議を行い、対応策も検討しています。	
	52 虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	・やむ負えずの身体拘束については、事前に保護者の方に説明を行っています。 ・期間を決め見直しを行っています。	